

東ドイツのなかの外国人

——ベトナム人契約労働者(Vertragsarbeiter)の副業を中心に——

文学研究科

哲学歴史学専攻 西洋史学専修

2020 年度

M19LA006

むらかみはるか
村上遥香

目次

はじめに	3
第1章 先行研究と問題の所在	7
第1節 排外主義と統合の文脈	7
第2節 ベトナム人契約労働者に関する研究	8
第3節 問題の所在	10
第2章 東ドイツ・ベトナムの二国間協定の背景	12
第1節 1980年代までの東ドイツ——増大する負債と労働力不足の中で	12
第2節 外国人契約労働者の受け入れ	14
第1項 1970年代、1980年代における外国人契約労働者協定の変化	14
第2項 東ドイツとベトナム	16
第3節 1980年代までのベトナム——ベトナム戦争後の経済危機の中で	17
第3章 ベトナム人契約労働者	20
第1節 採用・雇用条件	20
第1項 採用条件、配属先企業・地域	20
第2項 賃金・社会保障	24
第3項 職業教育	24
第2節 権利と制限	26
第1項 余暇	26
第2項 消費財の輸出に関する権利と投機活動	27
第3項 宿舍	29
第4項 世話役、グループリーダー、通訳	32
第5項 強制送還	34
第3節 東ドイツ人との交流	37

第4章 ベトナム人契約労働者の副業活動	39
第1節 更なる収入を求めるベトナム人契約労働者	39
第2節 ベトナム人契約労働者と副業としての衣類製作	40
第1項 宿舍という作業場	40
第2項 東ドイツの商品需要とベトナム人契約労働者のジーンズ	42
第3項 販売方法	44
第4項 ベトナム人契約労働者の副業活動に対する東ドイツ人の反応	45
第3節 副業活動を可能にした3つの要因	46
おわりに	50
図表	52
参考文献リスト	54